

ハッピー&スマイル 5号

発行者
社会福祉法人楽寿会
特別養護老人ホーム楽寿荘
四倉町上仁井田字横川67
TEL (0246)32-6381



七夕楽食

七月二十五日、利用者の皆さんが楽しみにしていた楽食の日でした。今回の楽食はバイキング形式で、メニューは赤飯のおにぎり、カボチャの煮物、スパゲッティ、アジフライ、オムレツが大きなお皿においしそうに盛り付けられています。みなさん、いただきますの合図で「私はカボチャの煮物が欲しいわ」「赤飯取って頂戴」と好きなものを選んでおいしそうに食べていました。最後に、デザートはマンゴームースが出てきて、みなさん笑顔でいただきました。各棟の七夕飾りには、利用者の皆さんが書いた短冊が飾られています。



消防訓練

七月二日、防災訓練の一環として、四倉消防署の方々の協力を得て、楽寿荘の敷地内にある【いこいの家】で、夜間状態で火災が発生したことを想定し、「煙体験」が行われました。

職員が三人一組になり、利用者役、誘導役に分かれました。テーブルなどが配置してある【いこいの家】内を煙で充滿させ、視界の悪い中、奥の部屋のベッドにいる利用者役の職員を車イスに乗せて安全に出口に誘導する、というものでした。救助者役の職員は、タオルやマスクを口元に当て、屋内に入りました。屋内は煙で前が見えず、車

「今年も元気でいられますように」「おいしいものが食べたい」等の願い事が書かれた短冊を、みんなが願いが叶いますようにと、祈りながら笹に飾り付けました。



を確認しながら、声を掛け合い、グループで協力しながら出口まで辿り着きました。そして消防署の方より、現場で働いているからこそ分かる煙の怖さや、「煙を吸い込まないよう体勢を低くし避難すること」など、お話しいただきました。最後に、楽寿荘内の発電機の置き場所、使用方法を再確認しました。今回の訓練で、火はもちろんのこと、煙の怖さ、煙が充滿しているところの避難方法など学ぶことができました。四倉消防署の皆様、どうもありがとうございました。



「発電機の使用法」



ドライブ

七月二十三・二十五日、八月一日の三日間、サマーショートボラティアスクールの高校生数名と一緒に、利用者の方々が道の駅よつくら港にドライブに行きました。孫のような高校生に、車イスを押ししてもらいながらお買い物したり、海をみながらアイスクリームを食べたりと、楽しい時間を過ごしてきました。またいきましょうね。



「ご夫婦いっしょに」



「みんなで一緒に」



四倉夏祭り

毎年四倉地区で開催される「四倉ねぶたといわき踊りの夕べ」に参加してきました。

七月二十七日土曜日、朝から曇り気味で楽寿荘の踊りのメンバーの中にはお祭りが、中止になるのかと心配する声も上がっていました。が、予定通りいわき踊りの開催の運びとなりました。

このいわき踊りには、楽寿荘従業員一同、昨年度より参加してまいりました。地域交流の一つとして要請もありましたが、楽寿荘がある地元とのふれあいの為にも、避難されている方々との交流を兼ねたものになるように願いを込めて、今年度は、四十数名有志が、時折どしやぶりの雨が降ったり、雷鳴轟く中を、元気に飛び跳ねていました。商店街を練り歩く為、楽寿荘のディスプレイ、ショートステイを利用して利用している利用者の方々も多く、沿道より職員に声をかけられたり、職員から声をかけたりと、ふれあいが見受けられました。今年のプラカードは、チーム名の裏に「がんばっぺいわき／双葉」と入りました。これは四倉町に避難されている双葉の方々が、何かの形でお祭りに参加したいと要望があり、実現しました。



「理事長を先頭に」



「がんばりました」

供養祭

八月十日(土)楽寿荘でともに生活し、物故された方々の供養祭が行われました。

昨年度亡くなられた利用者様のご家族にも来荘していただき、地元四倉上仁井田の「最勝院」のご住職様の読経のながれるなか、しめやかにとり行われました。

ご家族様、利用者の代表に焼香していただき、目を閉じ、手を合わせ、住職のお経を聞きながら、在りし日の利用者とかかわりを思い出しました。

来荘されたご家族様、ご住職様、暑い中ありがとうございました。合掌



「がんばっぺいわき双葉のプラカード」



「迫力の四倉ねぶた」

青空昼食会のおしらせ

九月十九日(木)恒例の秋の青空昼食会が開催されます。ご家族皆様のお越しをお待ちしております。

